



杓目銅「接合せ花器」 w155×d155×h130mm 第66回日本伝統工芸展 入選



千貝 弘 Chigai Hiroshi

杓目銅は江戸時代始めに、佐竹の殿様のお抱え鋳師だった人が考案したとされています。その杓目銅に出会い、後世に残していきたいと考え、試行錯誤を繰り返しながら制作しています。

日本工芸会正会員として、皆様に手に取ってもらえるような品を作るため日々励んでいます。

金属の良さを知り、自分も作ってみたいと思ってくださった方々へ制作場所を提供しています。

日本工芸会正会員。1995年～伝統工芸日本金工展入選多数・東日本伝統工芸展入選多数。2000年～日本伝統工芸展入選多数。